

## リハビリテーション部からの研究に関するお知らせ

### 研究のためカルテの情報を使用させて頂いています

#### ◎対象となる患者さん: 肝臓がんの手術を受けた方

#### 1、研究の題名 『肝臓がん術後早期の身体活動量\*1 の違いが術後合併症\*2 に及ぼす影響について』

研究期間： 2019年12月17日 ～ 2023年3月31日

\*1: 身体活動量とは、一日にどれだけ動いているかということです。

\*2: 術後合併症とは、手術後に起きた合併症のことです。

#### 2、研究の目的

上腹部の手術を行なわれた方は早期に起きることで合併症を予防すると報告されています。当院では昨年度からリハビリテーションの介入を午前と午後の2回に増加して合併症の予防に努めております。当院では手術後の、一日にどれだけ動いているかを定量的に測定しています。しかし、これまでの研究では、一日にどれだけ動いているかを定量的に評価して、活動量が合併症と関係しているかを見ている研究はありません。そこで今回は、手術後の1日の活動量が合併症とどのように関わっているかをみることを目的としております。

#### 3、以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

対象期間： 2018年4月1日 ～ 2022年3月31日

#### 4、本研究で使用する情報について

本研究に関して診療記録から以下の情報を取得します。

年齢、性別、身長、体重、Body mass index(BMI)、在院日数、術後合併症の有無、Numerical Rating Scale (NRS) による痛みの推移、血液検査としてAlb、C反応性蛋白、手術の術式、術部位、出血量、日常生活動作の得点、握力、4mの歩行時間、Skeletal muscle mass Index\*3 (以下 SMI)、位相角、6分間歩行試験、サルコペニアの有無、Lever Frailty Index\*4、3軸加速度計による1日の身体活動量、歩数、立位

時間、座位時間を計測致します。

\*3 Skeletal muscle mass Index は、四肢の骨格筋量を身長<sup>2</sup>で割った値

\*4Lever Frailty Index は、握力・5秒の立ち上がり時間・タンデム立位の3つの項目で評価される肝臓疾患に特異的な虚弱を見る評価方法

## 5、取得情報の利用範囲

飯塚病院 で使用します。

## 6、本研究の責任者

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様責任を持ちます。

(科名又は部署名)リハビリテーション部

(研究責任者名)井本 俊之

## 7、対象となる患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、不利益を被ることは一切ございません。どうぞ、ご安心ください。

また、この研究の計画書を研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

(連絡先)0948-22-3800(代表)

(担当者名)リハビリテーション部 奥野 将太